

申請書兼請求書の書き方

別記第1号様式（第5条関係）

令和4年 月 日

法人であれば「法人名」
個人事業主であれば「屋号」を
記入してください。新発田市原油価格・物価高騰対策事業者支援金交付要綱第5条第1項の規定により、次のとおり

新発田市原油価格・物価高騰対策事業者支援金交付申請書兼請求書

関係書類を添えて申請、請求及び報告します。

1 申請者情報

法人名・屋号	住所	〒
代表者職・氏名	電話番号	新発田市
常時雇用する従業員数	主たる業種	

日中繋がる連絡先を
記入してください。

どちらか一方のみを選択し、「✓」を入れる。

下記のいずれかを選択し、☑をご記入ください

	☐ (1) 売上高の比較		☐ (2) 燃料費・原材料費・光熱水費の合算額の比較	
	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年
1月	円	円	円	円
2月	円	円	円	円
3月	円	円	円	円
4月	円	円	円	円
5月	円	円	円	円
小計	円①	円②	円④	円⑤
減少額 (①-②)	円③		前年比130%の額 (④×1.3)	円⑥
			前年比130%を 超過した額 (⑤-⑥)	円⑦

提出する資料で
確認できる数値を
記入してください。

2 申請額兼請求額（上記③または⑦を基に10万円を上限とする）

申請額兼請求額	円 ※千円未満切捨て
---------	------------

3 振込先口座情報

金融機関・店名・種別	
口座番号	
口座名義	

③または⑦の金額の千円未満を
切り捨てて記入してください。
創業により上記期間で比較出来
ない場合は、別紙「創業者向け
算定シート」で算出した額を基に
記入してください。

添付する資料等で確認できる
口座情報を記入してください。